

# 一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8月27日

前  
午9時19分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8月27日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 神谷里枝



質問方式 (○を付ける)		<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	財源確保に向けた人材育成について	
2	障害福祉施策について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	財源確保に向けた人材育成について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>公共施設再配置計画推進が思うように進まない中、幼児教育・保育の無償化による財政負担の増、浜名湖西岸土地区画整理事業や焼却場の再稼働など大型事業が控える中、法人市民税率の引き下げや合併算定替えの終了に伴い、来年度より普通交付税は無くなり臨時財政対策債の発行も出来なくなるなど財源確保が大変厳しい状況にあります。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>新たな政策展開や着実な政策実行の為の財源捻出を図る為、職員はもとより、審議会等に委嘱されて出席される市民を始め、市民皆が情報を共有し、市長の政策展開を促進する為。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今後、政策的経費に充当できる予算の動向を伺う。</li> <li>2. 今までは「スクラップ&amp;ビルド」と言われていたが「これをやるから類似目的のこれは止めることができるのでは」という「ビルド&amp;スクラップ」の考え方による財源捻出の為に、2030年問題を体感する『対話型自治体経営シュミレーションゲーム「SIM2030」』を取り入れた人材育成を行なうことが重要と考え、審議会等に参加される方々にも受けていただくことで、より有意義な会議の進捗が図られると思うが如何か。</li> </ol>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	障害福祉施策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>このテーマについては平成 29 年と昨年 6 月にも一般質問を行わせて頂きました。その中で一部事務組合による障害者福祉サービスを提供している事業管理者として、施設利用者のみならず、現在、在宅生活を送っている障害者の居住系サービス提供をどの様に考えておられるか、お聞きしたところ、市長は平成 29 年のご答弁では「現実の声を受け止めた上でグループホームが必要ならばそういった支援など行いたい」、昨年は「浜松市との協議は勿論の事、利用者や家族、その他関係者の意見を聞き、一部事務組合としての役割や、具体的計画・将来計画を作っていかなければならない」とのご答弁を頂いた経緯がございます。また、保護者の高齢化などにより成年後見制度の推進が図られていますが、費用負担の部分で困惑する、というご意見も良く伺います。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>前回の質問から 2 年以上が経過しており、その後の進捗状況を伺うと共に、将来的な一部事務組合による障害福祉サービス提供体制の方向性と湖西市における障害福祉サービス提供の内容の確認を行う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 厚生労働省が今年 4 月より身体障害者手帳・または精神障害者保健福祉手帳の「カード化」を認める省令を交付されましたが、市としての対応・考え方を伺うと共に、以前より認められていた療育手帳への対応状況をお伺いいたします。</li> <li>2. 「湖西市成年後見制度に係る後見人などの報酬助成に関する要綱」について、介護保険事業には予算計上がされておりますが、障害者への助成内容を伺うと共に、情報提供をどの様に行っているのかお伺いいたします。</li> </ol>	

3. 今年4月より、浜名学園組合施設利用者に対する食事提供体制に変更があったと伺っていますが、変更に至った経緯と現状、今後の体制についてお伺いいたします。
4. 一部事務組合の運営体制について、前回の質問から1年以上が経過致しましたので、浜松市との協議や関係者への意見聴取など、どのような対応をされたのか、その経緯とその後の進捗状況をお伺いいたします。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8 月 27 日  
前  
午 10 時 20 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8 月 27 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様

湖西市議会議員 荻野利明



質問方式 (○を付ける)	質問方式 一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答
番号	主 題
1	保育園給食費の負担の取り扱いについて
2	学校給食の無償化または負担軽減について
3	加齢性難聴者の聞こえを守り、社会参画を促す対応を
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	保育園給食費の負担の取り扱いについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>幼児教育・保育の無償化がこの10月から実施予定ですが、保育園給食費（主食＋副食）の負担の取り扱いが焦点になっています。</p> <p>これまでは3歳から5歳は保育料に副食代が含まれており、主食代のみを徴収されてきました。しかし、今回の無償化を機に、保育料は無償化となる一方で、主食代と副食代（6,000円程度）は無償化の対象から外され、この費用は保育施設が実費徴収することになります。つまり、保育料が無償化となる一方で、副食代が実費徴収として新たな負担となります。</p> <p>国は、無償化に伴い年収360万円未満相当の世帯を免除対象としましたが、年収360万円超の世帯には副食代が新たな負担となります。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>幼児教育・保育の無償化と言いながら、新たな負担が求められるのに納得いけない。市の対応を伺いたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各保育施設が副食代を徴収することになっているが、施設にとっては、大きな負担となることは明らかです。事務負担軽減のため、行政による新たな支援が必要ではないか。</li> <li>2. 副食代の実費徴収を機に、滞納がある世帯が増えてしまう恐れがありますが、保護者の滞納にどう対処するのか。</li> <li>3. 幼児教育・保育の無償化に伴う新たな父母負担に対し、全額補助や一部補助を実施する自治体が出てきている。湖西市の対応を伺う。</li> </ol>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	学校給食の無償化または負担軽減について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>文部科学省の調査によれば、平成 29 年度までの給食費無償化の状況は小・中学校ともに無償化は全自治体の 4.4%、一部無償化や一部補助は 24.4%と決して多くはない。人口規模の大きな市ではなく、町村での実施が多く、児童・生徒数が少ないことも要因であるとされている。</p> <p>また、一部無償化と一部補助については、主に多子軽減をはじめ、低所得世帯やひとり親家庭の児童を対象にしている。これらを踏まえて、本市でも議論を活発化させる必要がある。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>「義務教育はこれを無償とする」と日本国憲法に書かれています。学校給食も無償化が本来の在り方です。学校給食費の無償化または負担軽減に対する本市の考えを伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小・中学校全体で給食費の父母負担は、年間どれだけあるのか。</li> <li>2. 教育委員会として、この父母負担について議論をしたことがあるか。</li> <li>3. 少子化対策として、要保護世帯及び準要保護世帯に含まれない低所得世帯や多子世帯への負担軽減を考える必要があると思うがどうか。</li> <li>4. 小・中学校の給食費補助は影山市長の選挙公約でもあります。本市の考えを伺いたい。</li> </ol>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
3	加齢性難聴者の聞こえを守り、社会参画を促す対応を
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>高齢者は、70歳代の男性の23・7%、女性では10・6%、80歳代では男性は36・5%、女性は28・8%の人が難聴者となっていると言われていいます。原因は動脈硬化による血流障害が原因とされていますが、さらにストレス、睡眠不足、騒音、運動不足などがあげられています。難聴になると家族や友人との会話が少なくなり、会合出席や外出の機会が減り、コミュニケーション障害が起こるとされています。さらに、認知機能低下が、正常聴力の人より32～41%の悪化がみられています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>現在、難聴者の14・4%しか補聴器をつけていないとの推計もあり、理由の一つは、補聴器の価格です。補聴器は3万円くらいから30万円以上のものあり、平均で15万円と価格が高すぎるからです。高齢者の社会参加を促すためにも補聴器購入に補助が必要と考える。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 障害者手帳を保持しない高齢者の聞こえを守り、社会参画を促すためにも補聴器購入の助成ができないか伺う。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること



# 一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8 月 27 日

前  
午 10 時 58 分 受付  
後

(受付順位 番)

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8 月 27 日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



湖西市議会議員 吉田建二



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答	<input type="radio"/> 一括の質問答弁	<input type="radio"/> 一括と一問一答
番号	主 題		
1	大気保全体制の強化に向けて		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	大気保全体制の強化に向けて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>豊橋市原町にある産業廃棄物焼却施設を経営する会社が、大規模施設に建て替え 24 時間操業を開始することから大気汚染が懸念され、湖西市民にとっては大きな不安を抱えた課題となっている。</p> <p>今回の主題については昨年の 12 月議会で質問し、湖西市としても大気の保全体制の必要性を認識し、豊橋市などの関係機関と折衝していただいたところである。</p> <p>その結果については 7 月の全員協議会で報告されたが、内容は湖西市民の不安を解消できる状態にはつながり難いと思われる。</p> <p>そこで、良好な大気を保持していくために、大気保全体制の充実強化について、湖西市はどのように認識し、今後どのように対応していくかを改めて確認しておきたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市民の不安軽減を図るために、大気保全体制の強化につなげていきたい。</p> <p>(質問事項)</p> <p style="text-align: center;">(連絡協議会的な組織の設置について)</p> <p>1. 連絡協議会的な組織の設置に関し、豊橋市長との面談による協議をして頂いたが、協議の前後において 協議会的組織の設置に対する認識に変わりが生じたのか、または従来通りであるのかを伺う。</p> <p style="text-align: center;">(両市の長による面談協議の状況について)</p> <p>2. 豊橋市長との面談協議はどのように行われ、どんな状況であったのかは大きな関心ごとである。語れる範囲で面談協議の概要について説明をいただきたい。</p>	

(工事の進捗状況等について)

3. 建設工事は平成30年12月着手と聞いているが、工事の進捗状況はどのようになっているか。

又、操業の開始はいつなのか。焼却処理量は順次増やしていくのか。操業時間は当初から24時間なのかなど、操業の開始に係る予定について説明いただきたい。

(測定結果を協議する会議について)

4. 「ダイオキシン類の測定結果を協議する会議」の設立の経緯と活動内容の概要について伺う。

又、構成団体を静岡県、豊橋市、湖西市の3者としている理由、これからの活動予定などを説明願いたい。

(東三河環境行政連絡協議会について)

5. 「東三河環境行政連絡協議会」の設立の経緯と活動内容の概要について伺う。

又、当協議会において、豊橋市と湖西市の大气保全にかかる事項について協議してもらえそうなのか。当協議会におけるメリットはどのようなものがあるかの所見を伺う。

(市民の不安を払拭するための対応について)

6. 市民の不安を払拭していくためにどのように対応していくのか、その概要について伺う。

又、自治会連合会で受理している誓約書を協定書に変更したら、住民との約束がより明確になり、住民の不安が軽減していくと考えるがいかがか。

(大气保全体制の充実強化に向けて)

7. 大气保全体制の充実強化に向けて、今後どのように対応をしていくのかを伺う。

又、豊橋市との連携をより密接に強固なものにするため、連携事項を覚書という書面にすることにより「見える化」が図られ、より成果につながると考えられるがいかがか。

# 一 般 質 問 通 告 書

令和元年 8 月 27 日

前  
午 11 時 12 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年 8 月 27 日

湖西市議会議長 加藤 弘己様



湖西市議会議員 中村 博行(印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	地域医療体制の充実について考えを伺う
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	地域医療体制の充実について考えを伺う
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市の第 6 次総合計画策定に入ろうとしています。第 5 次総合計画では協働でめざすまちの姿 2 で「ふれあいあふれるはつらつとしたまち」③ 地域医療の連携を強化する。とあります。また現況と課題の中では、地域医療を充実するためには、本市の中核を担う市立湖西病院と地域の病院・一般診療所や行政との連携を強化し、それぞれの役割を分担し、相互に連携して機能させていくことが大切です。また保健・医療・福祉の連携のもとに、地域ぐるみで市民の健康増進・健康管理に努めていくことも必要です、とありますが事務事業評価では、一般診療所の休日の救急医療の補助金と病院のオーダリングシステムのリース費の 2 点が上がっています。これが「施策の内容」と「主な事業」と合致していないのではないか、と違和感を感じた。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>地域医療体制が充実していると感じる市民の割合を増やすため</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 私は地域包括ケアの核として、市立湖西病院を充実させるべきと考えますが、市としてはどのような核と位置づけ、充実しようとしているのか伺います。</li> <li>2. 総合計画には、市立湖西病院と地域の病院・一般診療所、行政との連携を強化するとあります。私は病院事業管理者のもとに、病院も福祉部門の中に入れ、湖西市全体での医療の連携体制を考える方が良いと思いますが、如何ですか。</li> <li>3. 市民に対する、医療機関の情報や福祉に関する情報の見える化をどのように考えているか伺います。</li> </ol>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一般質問通告書

令和元年8月27日

前  
午11時15分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和元年8月27日

湖西市議会議長 加藤 弘己 様



湖西市議会議員 三上 元



質問方式 (○を付ける)	<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	次の副市長を民間から抜擢する考えは
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	次の副市長を民間から抜擢する考えは
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>この10年から20年は、官も民間に学ぼう、民間の仕事改革、働き方改革、に学ぼう！とする流れの中にある。 湖西市も学んでいるが、もっと改善のスピードアップしてはどうだろうか。</p> <p><b>【具体例】</b></p> <p>A 8月9日市町議員研修での講演内容はまさにその事例を示してくれた。 キリンググループの例だが、独身の社員が「ママになった」つもりで働く実験は、残業が5割削減され、業績は落ちなかった。という内容であった。</p> <p>B 私が元働いていた頃の船井総合研究所は、若手の残業が多い会社だったが、今はまるで残業の無い会社に変身して、従前は個人で業績を競っていたが、チームで業績を競う方式に変えて、業績好調である。</p> <p>C 湖西市でも、そのソフトを使っているサイボウズだが、青野社長は「ひょっとすると会社というモンスターが我々を不幸にしているかもしれない」と何時も問いながら、仕事改革（労働時間自由選択などなど）に取り組んでいるという。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>改善について民間に学び、その手段を検討してもらいたい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 民間に学ぶ手段として、次に招く副市長を民間から抜擢することを考えてはどうだろうか。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること